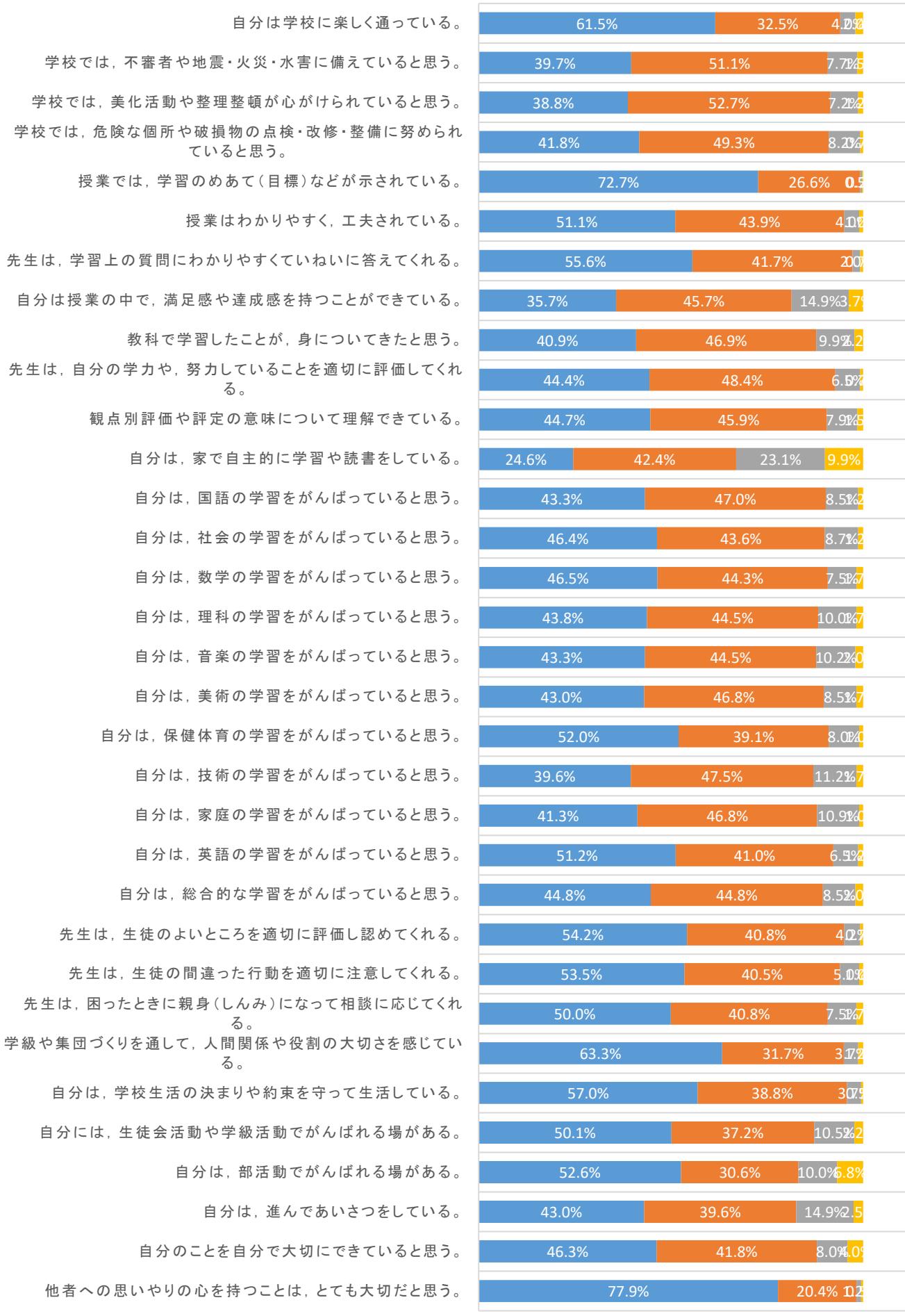


令和3年度 後期 学校評価アンケート 全学年生徒

■ そう思う ■ 大体そう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない



- ・授業について、「そう思う」「大体そう思う」が若干回復しているが、リモートで授業をする機会が増えており、より充実したものになるよう工夫が求められている。
- ・「家で自主的に学習や読書をしている」は、前年度から10%近く数値が下がっている。塾などによって自分から学習する時間がとれないことも考えられるが、自主的な取り組みが進められるよう意欲や関心を高められる方策を継続して検討していく必要がある。
- ・どの教科も授業について生徒はおおむね頑張ることができている。「そう思う」「大体そう思う」の合計の数値は多くの教科で回復傾向が見られる。
- ・大多数の生徒が「人間関係や役割の大切さ」を感じており、規範意識を持つことを大切だと考えている。「他者への思いやりの心」についても、前後期とも高い値で推移している。
- ・部活動や委員会活動については、新型コロウィルスの影響で活動の停止や縮小をした期間が長いため、頑張れる場所があると思えない生徒が増えている。
- ・進んであいさつをする生徒がわずかだが減少している。部活動など日常的にあいさつする機会が減っているのかもしれないが、周囲から積極的にあいさつすることで関係づくりを進めたい。

